

地域交流センター「とわふる」 プレオープンイベントを開催します

愛称決定!

申問商工観光課 ☎51-6773 FAX 22-9799
メール shokokanko@city.towada.lg.jp

応募総数103点から厳選!

愛称は「とわふる」です
ここは
太田 心葉さん(14歳)が考えました

この愛称には、「県外に行っても十和田に帰ってきたときに地域の人と一緒に自分たちのふるさと、十和田市のことを語り合えるように」という考案者の思いと、「音の響きが良いほか、『ふる』には十和田の良いものが全部詰まったという意味にも捉えることができる」との選考評の二つの意味が込められています。

「とわふる」のちょこっと紹介!!



◀大・中・小ギャラリー
用途：作品展示、音楽・舞台発表、会議など



多目的室 ▶
用途：各種創作活動、ダンス、料理教室など

アイデアで使い方いろいろ

■9月19日(月)プレオープンイベント

地域交流センター「とわふる」設計者
藤本壮介さん講演会 午前10時～正午

- ▶定員 200名 ▶料金 無料
- ▶応募方法 参加希望者全員の氏名、年齢、代表者の郵便番号、住所、電話番号を記入し、はがき、FAX、メールのいずれかで申し込みください。
- ▶応募締切 9月8日(木) (当日消印有効)

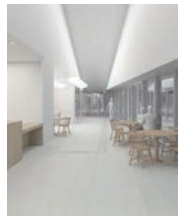


©David Vintner
建築家 藤本 壮介さん

※申し込み多数の場合は抽選により決定し、当選者には入場券をお送りします。なお、入場券がない人は入場できません。

■一般市民内覧会 午後1時～5時

事前申し込みは要りませんので、ぜひお越しください。市民団体の発表会もあります。
※施設専用の駐車場がありませんので、お近くの駐車場をご利用ください。



SDGs～持続可能な社会を目指して～ Vol.9

問政策財政課 ☎51-6712

市では、持続可能な社会を目指してSDGsの取り組みを進めています。今号では、世界共通の17のゴール(国際目標)のうち、ゴール8の達成に向けた市の取り組みや一人一人ができることなどを紹介します。

8



ゴール8 働きがいも 経済成長も

「働くこと」の意味の一つは、お金を稼ぐことです。しかし、それだけでは「働きがい」が生まれないこともあります。また、働いていたとしても、全ての働く人が貧困から脱出できるとは限らず、特に、貧しい家庭の子どもなどが家族の生活を支えるため、学校にも通えず、毎日働き、不当な賃金や重労働を強いられている国や地域もあります。こうした労働環境が経済の停滞につながっています。

日本は依然として長時間労働が問題となっており、長時間労働の削減が喫緊の課題となっています。また、正社員と非正規社員、性別による労働格差や職場内でのハラスメントなどの問題もあり、働き方全体の見直しが必要といわれています。

ゴール8「働きがいも 経済成長も」では、全ての人が「働きがいのある人間らしい仕事(ディーセント・ワーク)」をしながら、持続可能な経済発展を進めることを目指しています。

達成に向けた市の取り組み

◆創業・起業支援

創業・起業に関する相談対応や情報提供に取り組むとともに、関係機関と連携し、構想・企画の段階から創業・起業に至るまで伴走型の支援を行います。

【一人一人ができること】

- ◆自分で生きていくため、生活を豊かにするためなど、人によって働く目的はさまざまです。将来どんな仕事がしたいか、子どもたちに考えさせてみましょう。
- ◆仕事以外の家族と過ごす時間や趣味などのプライベートな時間を大切にしましょう。